



GINZA TANAKA  
SINCE 1892



NEWS RELEASE

2017年3月30日

貴金属の老舗 GINZA TANAKA

伝統工芸技法をふんだんに施し、純金約4kgを用いて製作した折紙デザインの兜が登場！  
「純金製兜 “折紙デザイン”」を3月30日（木）より販売開始

GINZA TANAKA

田中貴金属ジュエリー株式会社



「純金製兜 “折紙デザイン”」(前面)



「純金製兜 “折紙デザイン”」(背面)

貴金属の老舗 GINZA TANAKA(田中貴金属ジュエリー株式会社 本社:中央区銀座、代表取締役社長執行役員:田中 <sup>まさかず</sup>和和、以下 GINZA TANAKA)は2017年で創業125周年を迎えました。今後も125年間支えていただいた多くの方たちへの感謝の気持ちを忘れることなく、創業時より受け継がれている“品質へのこだわり”を胸に、当社ならではの貴金属宝飾品の可能性を追求し続けてまいります。

GINZA TANAKAは、端午の節句を前に、折紙で折った兜をモデルとする「純金製兜 “折紙デザイン”」(税込価格:40,000,000円)を2017年3月30日(木)からGINZA TANAKA直営店(ブライダル専門店を除く)にて販売します。

「純金製兜 “折紙デザイン”」は、GINZA TANAKAが創業125周年を迎えたことを記念し、100年以上の歴史の中で培ってきた高度な貴金属加工技術や伝統工芸の技を随所に施しているのが特長です。「端午の節句」に馴染みの深い折紙で折った兜にヒントを得て、一般社団法人日本折紙協会<sup>\*</sup>の監修のもと、折紙兜のデザインを純金約4kgを使用して忠実に再現。日本に古くから伝わる貴金属工芸の伝統技法と折紙文化を融合させることで誕生した貴金属製兜の逸品です。

サイズは一般的な折紙の約4倍を想定し、パーツごとの角度やサイズ、バランスなど細部にまでこだわり製作しています。GINZA TANAKAの純金製兜としては、最も多様な伝統工芸技法(鍔目打ち・<sup>つちめ</sup>霰打ち・彫金・透かし彫り)を盛り込み、技法ごとに専門の職人が手作業で仕上げました。折紙の表面と裏面を忠実に再現するため、折紙で表面となる部分は光沢のある鏡面仕上げ、裏面となる部分はマットな質感の梨地仕上げとし、コントラストをつけています。また、紙の重なりにも注目し、折紙の重なる部分に合わせて、各パーツの厚みを微妙に変えることで、折紙作品ならではの立体感を再現しました。

兜前面の武士の額を守る<sup>ひさし</sup>庇部分には「霰打ち」を施し、インパクトのあるデザインに仕上げました。凸状と凹状の<sup>たがね</sup>鑿を使って、1粒1粒金鍔で叩いて打ち出していく霰打ちは、やり直しのきかない高度な技術が必要とされます。指先の感覚で打ち出す位置を判断しながら、常に同じ強さで叩くことにより、均等で美しい霰模様が生み出されます。兜の特徴ともいえる前面左右に張り出した<sup>くわがた</sup>鍔形部分には、板状の純金を金鍔で打つことでテクスチャーをつけていく「鍔目打ち」を施しています。鍔目模様が光を複雑に反射し、美しい煌きを生み出します。

兜背面の梨地仕上げの部分には、立身出世などのシンボルで縁起の良いモチーフである龍をデザイン。龍が天に勇ましく昇っていく様子を、兜の背面全体を使ってダイナミックに彫り上げています。龍を取り巻く雲の部分には、伝統工芸技法の「透かし彫り」を施し、立体感を表現しています。いずれの技法も、熟練の職人による高度な技が余すことなく発揮されています。

GINZA TANAKA では長年にわたり男児の健やかな成長を願い、上質な貴金属製の兜を製作・販売してきました。近年は、男児の誕生に合わせて資産性の高い金などの貴金属製兜を購入されるケースが増えてきており、今シーズン(2016年12月1日～2017年3月20日)の販売数は対前年同期比約30%増と好調に推移しています。GINZA TANAKA は、創業125周年を迎えた2017年に、伝統工芸技法をふんだんに使用した兜を、日本の伝統造形文化である折紙のデザインで作ることにより、金工芸品の美しさと、伝統工芸技術を広く知っていただくとともに、GINZA TANAKA の兜関連商品のさらなる売上向上を目指します。

※「日本折紙協会」とは

1973年10月、日本の伝統的な造形文化であり、すぐれた教育素材である「折紙」を伝承・発展させ、国内外に普及することを目的に、創設。趣味・教育・リハビリテーション効果など、様々な可能性をもつ「折紙」の素晴らしさを、日本国内はもとより世界の国々まで伝えるために、「月刊おりがみ」の発行ほか出版活動、「世界のおりがみ展」の開催ほか展示活動、会員を対象にした資格制度などの啓発活動、海外普及を目的とした国際交流活動など、様々な事業を推進しています。

## — 「純金製兜 “折紙デザイン”」 商品概要 —

【商品名】

「純金製兜 “折紙デザイン”」

【税込価格】

40,000,000円

【発売日】

2017年3月30日(木)

【素材/サイズ】

純金(K24)約4kg

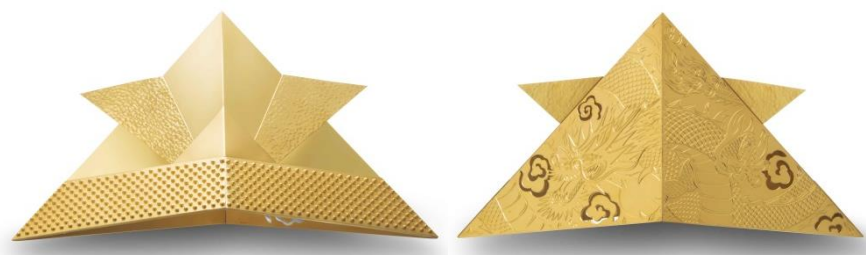
高さ約21×幅約40cm

\* 正絹座布団付

【販売場所】

GINZA TANAKA 直営店

(ブライダル専門店は除く)



「純金製兜 “折紙デザイン”」(前面)

「純金製兜 “折紙デザイン”」(背面)



折紙の裏面を梨地仕上げで表現



オリジナルの正絹座布団

### GINZA TANAKA「親子折紙ワークショップ」開催決定！

「純金製兜 “折紙デザイン”」発売を記念して、親子で参加いただける「親子折紙ワークショップ」をGINZA TANAKA 銀座本店にて開催します。ワークショップで作った兜やこいのぼりなどの折紙作品はお持ち帰りいただき、5月5日の「こどもの日」まで飾ってお楽しみいただけます。

【日時】2017年4月15日(土)14時～15時(受付開始13:30～)

【場所】GINZA TANAKA 銀座本店5階(東京都中央区銀座1-7-7)

【担当講師】石橋 秀夫(日本折紙協会認定折紙講師)

【内容】折紙で兜とこいのぼりをつくっていただけます。

【定員】親子で20名まで。※参加費無料

【募集期間】定員になり次第終了。下記の連絡先に参加のお申込をしてください。

【参加問合せ先】日本折紙協会:03-3625-1161(9:30～17:30 ※土日を除く祝日のみ休み)



兜とこいのぼり(作品例)

### 【GINZA TANAKA について】

1892 年に創業した GINZA TANAKA(田中貴金属ジュエリー株式会社)は、クオリティーの高いジュエリーや工芸品などの提供を通して、一人一人のライフスタイルに更なる輝きを持たせる、歴史と伝統を有する老舗の貴金属店です。純金やプラチナなどの上質な貴金属に匠の工芸技術を駆使して、デザイン性に富み、かつ資産性の高いジュエリーや工芸品などを製作・販売しています。

#### 〔直営店舗〕

銀座本店、新宿店、ホテル椿山荘東京店、伊勢丹立川店、横浜元町店、仙台店、新潟三越店、名古屋店、栄店(ブライダル専門店)、名古屋三越 栄店、心齋橋店、高松三越店、福岡 西鉄グランドホテル店

### 【田中貴金属グループとは】

田中貴金属グループは 1885 年(明治 18 年)の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇り、長年に渡って、産業用貴金属製品の製造・販売ならびに、宝飾品や資産としての貴金属商品を提供。貴金属に携わる専門家集団として、国内外のグループ各社が製造、販売そして技術が一体となって連携・協力し、製品とサービスを提供しております。田中貴金属ジュエリー株式会社は、田中貴金属グループの一員として、宝飾品販売事業等を担っています。また、さらにグローバル化を推進するため、2016 年に Metalor Technologies International SA をグループ企業として迎え入れました。今後も貴金属のプロとして事業を通じ、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

#### <本件に関するお問合せ先>

- GINZA TANAKA(田中貴金属ジュエリー株式会社) 広報担当 共同 PR:田中、伊原、川島、斉藤  
TEL:03-3575-9823 FAX:03-3574-0316 E-mail:thdpr@kyodo-pr.co.jp
- TANAKA ホールディングス株式会社:石橋、加藤 TEL:03-6311-5590
- 一般からのお問合せ/GINZA TANAKA TEL:0120-556-826 <http://www.ginzatanaka.co.jp>